

令和 3 年度 認知症地域支援推進員の活動実績

1 配置人数

- ・ 認知症の人や家族への相談業務や支援機関間の連携強化等を行うことで認知症事業を推進するため認知症地域支援推進員を設置。

令和 3 年度は計 14 名を配置。

【内訳】 地域包括支援センター 10 名
地域包括ケア推進課 2 名
福祉相談センター 2 名

2 認知症地域支援推進員会議の開催

- ・ 認知症地域支援推進員間の情報共有や施策の検討等、連携を図るため、定期的に会議を開催。

【第 1 回】 日時：令和 3 年 6 月 24 日（金） 午後 1 時 30 分から

会場：川越市民サービスステーション会議室 A・B

〔主な議事〕

- ・ 認知症地域支援推進員の活動内容について
- ・ 認知症地域支援推進員による認知症予防教室の講義①について
- ・ 認知症ケア専門相談について
- ・ 認知症相談会について

【第 2 回】 日時：令和 3 年 9 月 7 日（金） 午前 10 時 00 分から

会場：川越市民サービスステーション会議室 A・B

〔主な議事〕

- ・ 川越市自立相談支援センターとの連携
- ・ 認知症地域支援推進員による認知症予防教室の講義②③について
- ・ 認知症サポーターステップアップ講座について
- ・ チームオレンジの立ち上げについて
- ・ アルツハイマーデーについて

【第 3 回】 日時：令和 3 年 12 月 13 日（月） 午前 10 時 00 分から

会場：川越市民サービスステーション会議室 A・B

〔主な議事〕

- ・ 認知症サポーターステップアップ講座の内容について
- ・ 本人ミーティングについて（認知症本人と家族のニーズを共有）

- ・お帰り安心ステッカーの周知について
- ・対応事例等の共有について

※当日の会議時間内で、議事検討の検討が終わらず。そのため、令和4年1月17日にWEB会議を行い、追加検討を行った。

【第4回】日時：令和4年3月7日（月） 午後1時30分から

会場：川越市民サービスステーション会議室A・B

〔主な議事〕

- ・認知症サポーターステップアップ講座モデルケースの進捗について
- ・令和3年度本人ミーティング～当事者の思いを聴く～の開催について
- ・認知症初期集中支援チームについて

3 主な取組内容

- ・国が示している推進員の主な役割「Ⅰ～Ⅲ」を取組の柱として活動を行った。

Ⅰ 医療・介護等の支援ネットワークの構築

(1) 川越市お帰り安心ステッカーの周知ポスターの 掲示依頼と配布

市民への普及啓発のため、配布先の検討を行い、市内医療機関や銀行、郵便局、民間商業施設（スーパー、コンビニ、ドラッグストア）等へ周知ポスターの掲示依頼と配布を行った。

- ・依頼先店舗 計599件
- ・ポスター配布枚数 計962枚



<川越市お帰り安心ステッカーにより、身元が判明した事例>

- ・救急要請により救急隊が本人を保護。ステッカーから地域包括ケア推進課に連絡。地域包括ケア推進課より家族に連絡。「本人がいなくなり、警察に届け出たところだった」との話があった。
- ・早朝、他人の自宅前を行ったり来たりしているところを市民により保護。ステッカーを付けていたことから警察に連絡し、警察より家族に連絡し無事帰宅した。

(2) 若年性認知症サポートセンターの機能を理解する

より円滑に連携を図って行くため、若年性認知症支援コーディネーターより、若年性認知症サポートセンターの機能について説明を受け、機能を理解する機会を設けた。

Ⅱ 関係機関と連携した事業の企画・調整

(1) 「本人ミーティング～当事者の思いを聴く～」の開催

若年性認知症支援コーディネーター及び埼玉県リハビリテーション・ケアサポートセンター霞ヶ関南病院と連携し開催。認知症の本人自らが思いを発信できる機会を設け、その思いを受容するとともに、支援者としてできることや方法を考え、認知症の本人の意思を尊重した支援に結びつけていくための第一歩として開催した。

日時：令和4年3月12日（土） 午前10時00分から

場所：子育て安心施設 すくすくかわごえ 5AB多目的室

〔主な内容〕

- ・ 認知症当事者3名からの経験談等の話
- ・ 認知症当事者とファシリテーターによる座談会方式での質疑応答



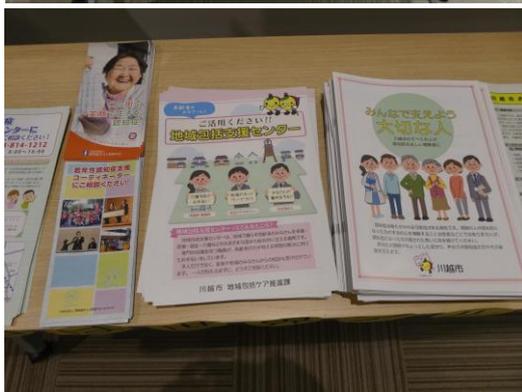
(2) 9月21日世界アルツハイマーデーにおける認知症普及啓発パネルの展示 (川越市民サービスステーション)

認知症に対する理解の促進を図るため、パネル展示を実施。パネル展示と併せて認知症に係る各種チラシも市民が自由に取得できるよう設置。認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。

場所：川越市民サービスステーション（U PLACE 3階）

期間：9月13日～21日

<パネル展示の様子>



(3) 各事業の実施に向けた検討（主な事業）

下記の主な事業については、認知症地域支援推進員会議において検討を行った。

①認知症予防教室

市民に対して、エビデンスに基づいた認知症予防を普及し、正しい共通理解を促進していくため、認知症地域支援推進員が、認知症予防教室の冒頭で統一的な講義を行うこととした。

②認知症サポーターステップアップ講座（チームオレンジ）

認知症サポーターがチームオレンジとして活動するための認知症サポーターステップアップ講座の内容や開催方法について、協議し決定。モデルケースとして、3つの圏域で開催してみることとなった。

③本人ミーティング

認知症地域支援推進員が把握している本人や家族のニーズについて共有をおこない、本人ミーティングのニーズがあることを確認した。令和4年度からの定期的な実施に向けて、認知症地域支援推進員により本人ミーティングに参加できる認知症当事者の把握を進めている。

④認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームの活用状況について情報を共有し、更なる活用に向けての意見交換を行った。意見を基に、令和4年度より支援の流れ等を変更し、実施することとなった。

Ⅲ 相談支援・支援体制の構築

(1) 認知症の人や家族への相談支援

①認知症に関する相談対応

- ・福祉相談センター 203件（相談受理件数）
- ・地域包括支援センター 13,095件（相談受理・対応件数）

②認知症ケア専門相談事業との連携した相談支援

- ・医師による認知症相談会 計32組（11回）
- ・認知症ケア専門相談会 計11組（7回）

(2) 認知症の相談支援等における事例検討や情報共有

認知症地域支援推進員会議にて認知症に関する相談事例やアプローチ方法について共有した。

(3) 認知症地域支援推進員研修の受講によるスキルアップ

認知症介護研究・研修東京センターが開催する認知症地域支援推進員研修（厚生労働省標準カリキュラム）を受講し、認知症地域支援推進員としての知識の習得等スキルアップを行った。

研修受講人数：新任者研修11名